

2025年3月期第2四半期決算説明

2024年11月8日

 日本カーバイド工業株式会社



2025年3月期第2四半期決算の概要



サマリー【連結損益計算書】

- 電子・機能製品事業は、エレクトロニクス市況の緩やかな回復に伴い、半導体及び電子部品向け製品の出荷が増加
- フィルム・シート製品事業は、欧米や中国での自動車販売台数の増加により、ナンバープレート向け製品の出荷が増加したことに加え、為替による損益へのプラス影響
- 建材関連事業は、原材料価格の上昇や在庫削減等により、収益性が悪化
- エンジニアリング事業は、製鉄分野向けカーボンニュートラルトランジション設備の受注増により、売上が増加
- 以上の結果、前年同期比**増収増益**

単位：百万円

	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	前年同期比	
	実績	実績	増減額	増減率
売上高	21,333	23,370	2,037	+9.5%
営業利益	480	1,263	782	+162.7%
営業利益率	2.3%	5.4%	—	+3.1 ポイント
経常利益	1,027	1,381	354	+34.5%
中間純利益	787	847	60	+7.7%

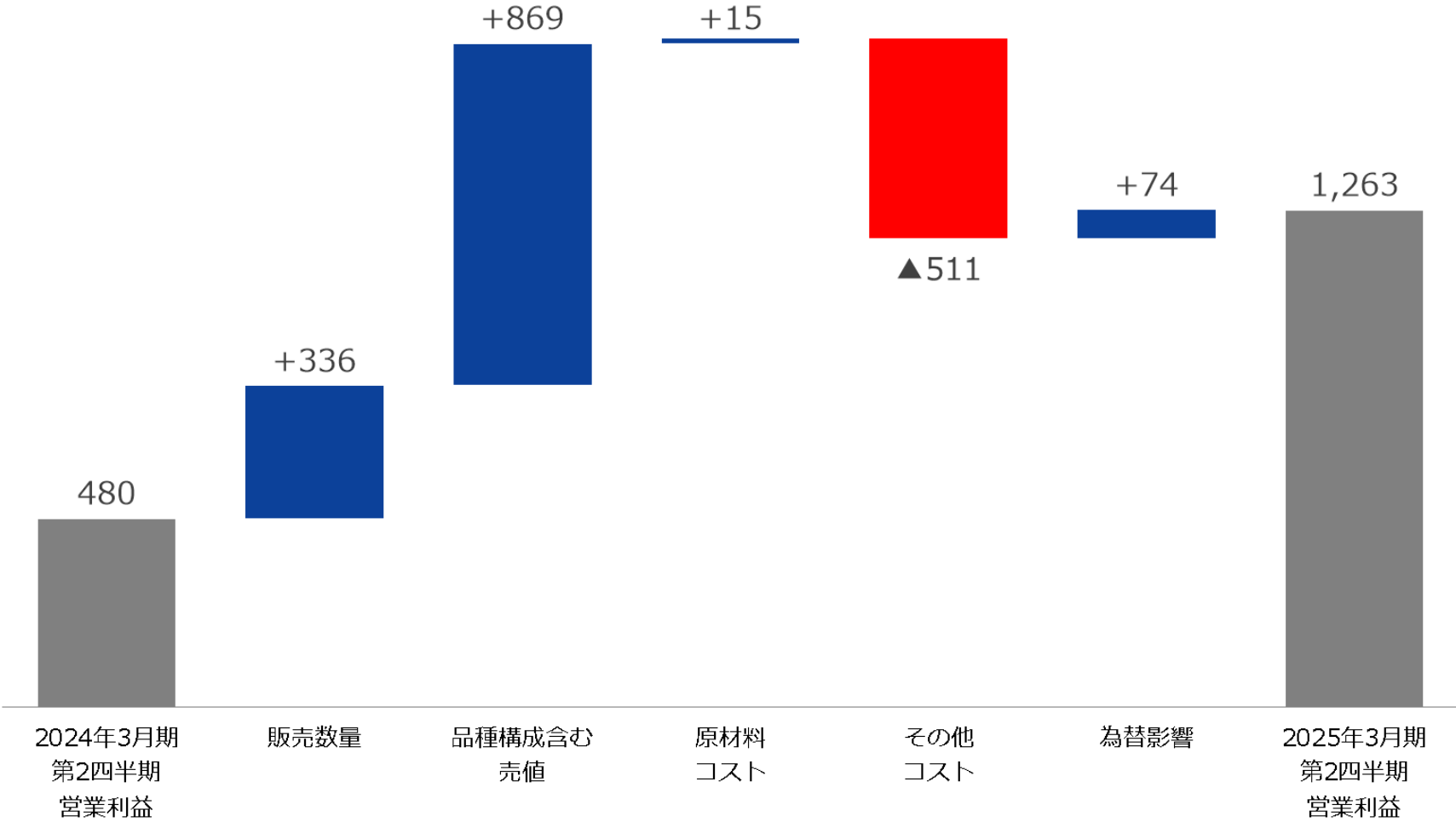
営業利益増減要因分析

2024年3月期第2四半期v.s.2025年3月期第2四半期



前年同期比 782百万円増益

単位：百万円



セグメント別業績



単位：百万円

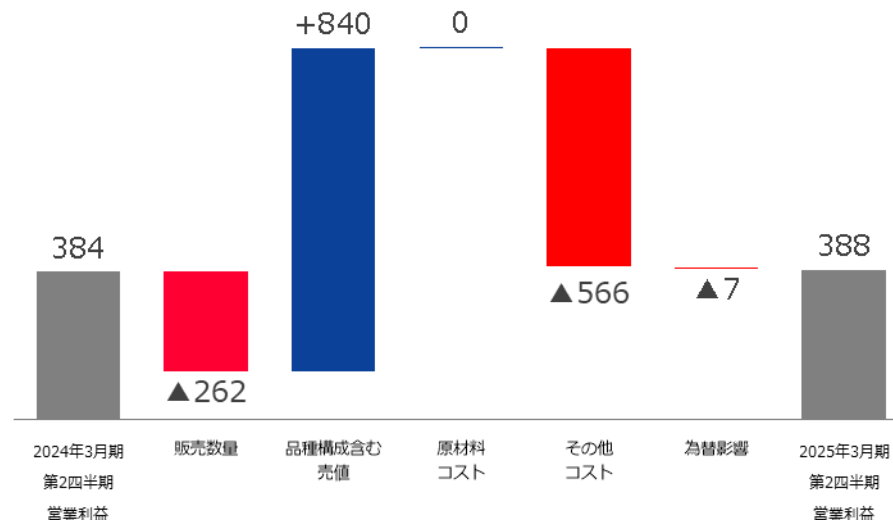
		2024年3月期第2四半期	2025年3月期第2四半期	前年同期比	
		実績	実績	増減額	増減比
電子・機能製品	売上高	8,323	8,621	298	+3.6%
	営業利益	384	388	3	+1.0%
フィルム・シート製品	売上高	8,601	9,963	1,361	+15.8%
	営業利益	341	966	625	+183.5%
建材関連	売上高	3,499	3,501	1	+0.1%
	営業利益	147	11	▲ 135	▲92.0%
エンジニアリング	売上高	1,075	1,422	347	+32.3%
	営業利益	▲ 127	91	218	-
連結調整	売上高	▲ 166	▲ 138	28	-
	営業利益	▲ 265	▲ 194	71	-
連結合計	売上高	21,333	23,370	2,037	+9.5%
	営業利益	480	1,263	782	+162.7%



セグメント別状況 電子・機能製品事業

単位：百万円

	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	前年同期比	
	実績	実績	増減額	増減比
売上高	8,323	8,621	298	+3.6%
機能化学品	1,522	1,889	367	+24.1%
機能樹脂	4,345	3,907	▲ 438	▲ 10.1%
電子素材	2,455	2,825	370	+15.1%
営業利益	384	388	3	+1.0%



機能化学品 増収増益

- + エレクトロニクス市況の緩やかな回復に伴い、半導体及び電子部品向け製品の出荷が増加
- お客様都合による在庫調整により、農薬向け製品の出荷が減少

機能樹脂 減収減益

- + 原材料価格の上昇に応じた製品価格の改定による損益へのプラス影響
- 光学関連分野向け粘・接着剤の国内向け出荷が減少

電子素材 増収増益

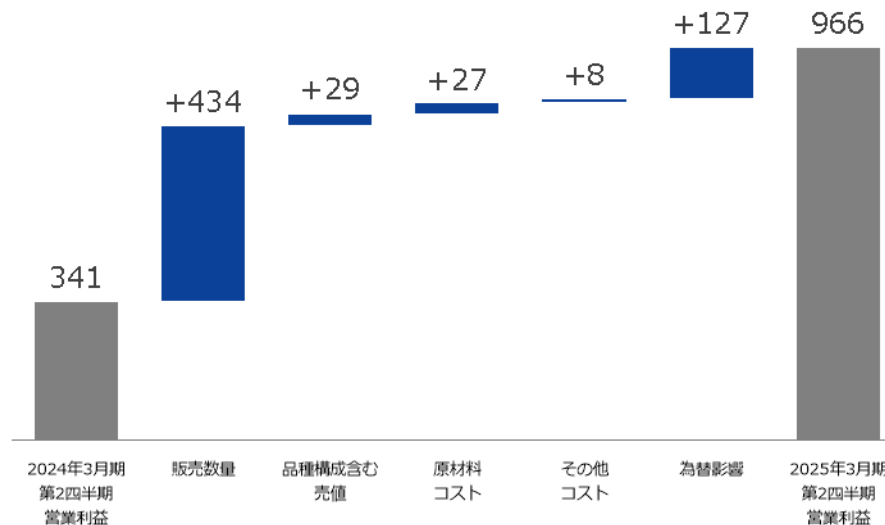
- + エレクトロニクス市況の緩やかな回復に伴い、半導体及び電子部品向け製品の出荷が増加



セグメント別状況 フィルム・シート製品事業

単位：百万円

	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	前年同期比	
	実績	実績	増減額	増減比
売上高	8,601	9,963	1,361	+15.8%
フィルム	620	708	88	+14.2%
ステッカー	3,319	3,588	269	+8.1%
再帰反射シート	4,662	5,665	1,003	+21.5%
営業利益	341	966	625	+183.5%



フィルム 増収減益

- + 国内向け屋外看板用製品の出荷が増加
- 原材料価格上昇分の製品価格への転嫁が遅れたことによる損益へのマイナス影響

ステッカー 増収増益

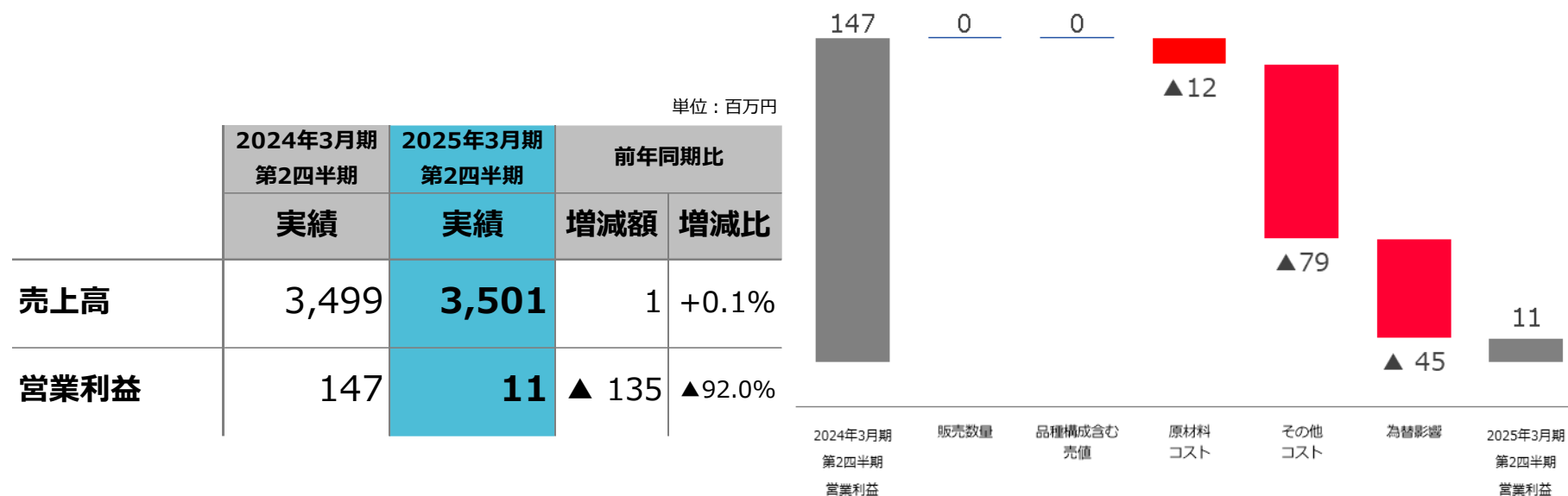
- + タイでの二輪車向け3Dエンブレム等の高付加価値製品の出荷が増加
- + インドネシアでの二輪車生産台数の増加により、二輪車向け製品の出荷が増加

再帰反射シート 増収増益

- + 欧米や中国での自動車販売台数の増加により、ナンバープレート向け製品の出荷が増加
- + 為替による損益へのプラス影響



セグメント別状況 建材関連事業



増収減益

- + 省エネ補助金制度による住宅リフォーム需要増により、住宅向け樹脂押出成形品の出荷が増加
- アルミ地金価格高騰による原材料価格の上昇
- 在庫削減による損益へのマイナス影響

セグメント別状況 エンジニアリング事業



単位：百万円

	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	前年同期比	
	実績	実績	増減額	増減比
売上高	1,075	1,422	347	+32.3%
営業利益	▲ 127	91	218	-

増収増益

- + 製鉄分野向けカーボンニュートラルトランジション設備の受注増により、売上が増加
- + 調達効率化等のコストダウンによる損益へのプラス影響

【サマリー】 連結貸借対照表



単位：百万円

	2024年3月期	2025年3月期第2四半期	前期末比
現金及び預金	13,442	13,632	189
売上債権	12,526	13,145	618
棚卸資産	9,368	10,054	685
有形固定資産・無形固定資産	24,004	23,999	▲ 4
その他	1,680	1,718	38
資産合計	61,020	62,548	1,528
有利子負債	11,491	10,028	▲ 1,463
仕入債務	5,537	6,184	646
その他	9,368	9,530	162
負債の部	26,396	25,742	▲ 653
株主資本	23,996	24,397	401
その他の包括利益累計額	8,634	10,264	1,629
非支配株主持分	1,992	2,143	150
純資産の部	34,623	36,805	2,181
負債純資産合計	61,020	62,548	1,528
D/Eレシオ	0.35	0.29	▲ 0.06
自己資本	32,630	34,661	2,031
自己資本比率	53.5%	55.4%	1.9ポイント

連結キャッシュフロー計算書



フリーキャッシュフローは1,822百万円

単位：百万円

	2024年3月期第2四半期	2025年3月期第2四半期	前年同期比
税金等調整前当期純利益	1,233	1,381	148
減価償却費	969	940	▲ 28
運転収支	▲ 101	▲ 36	65
その他	▲ 625	▲ 563	62
営業活動によるキャッシュフロー	1,476	1,722	246
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 2,108	99	2,207
フリーキャッシュフロー	▲ 631	1,822	2,454
借入金の増減額	825	▲ 1,455	▲ 2,280
配当金の支払額	▲ 328	▲ 465	▲ 136
その他	▲ 79	▲ 122	▲ 43
財務活動によるキャッシュフロー	415	▲ 2,042	▲ 2,458
現金及び現金同等物に係る換算差額	627	927	299
現金及び現金同等物の増減額	411	706	295
現金及び現金同等物の期末残高	10,232	12,764	2,531



2025年3月期決算の通期業績予想

2025年3月期 連結業績予想



売上高は前回予想並み

上期からのエレクトロニクス市況の緩やかな回復が継続すると予想し、営業利益を上方修正

為替差益の計上により、経常利益及び当期純利益を上方修正

単位：百万円

	2024年3月期		2025年3月期		2025年3月期		前期比	
	実績	利益率	5/13発表業績予想	利益率	現時点業績予想	利益率	増減額	増減率
売上高	43,231	-	50,000	—	50,000	—	6,769	+15.7%
営業利益	849	2.0%	2,100	4.2%	2,300	4.6%	1,451	+170.8%
経常利益	1,573	3.6%	2,200	4.4%	2,600	5.2%	1,027	+65.3%
当期純利益	999	2.3%	1,000	2.0%	1,400	2.8%	401	+40.0%
1株当たり配当	中間	30円	—	40円	—	40円	0円	+0.0%
	期末	50円	—	40円	—	40円		

2025年3月期は前期と同額の年間配当80円を予定

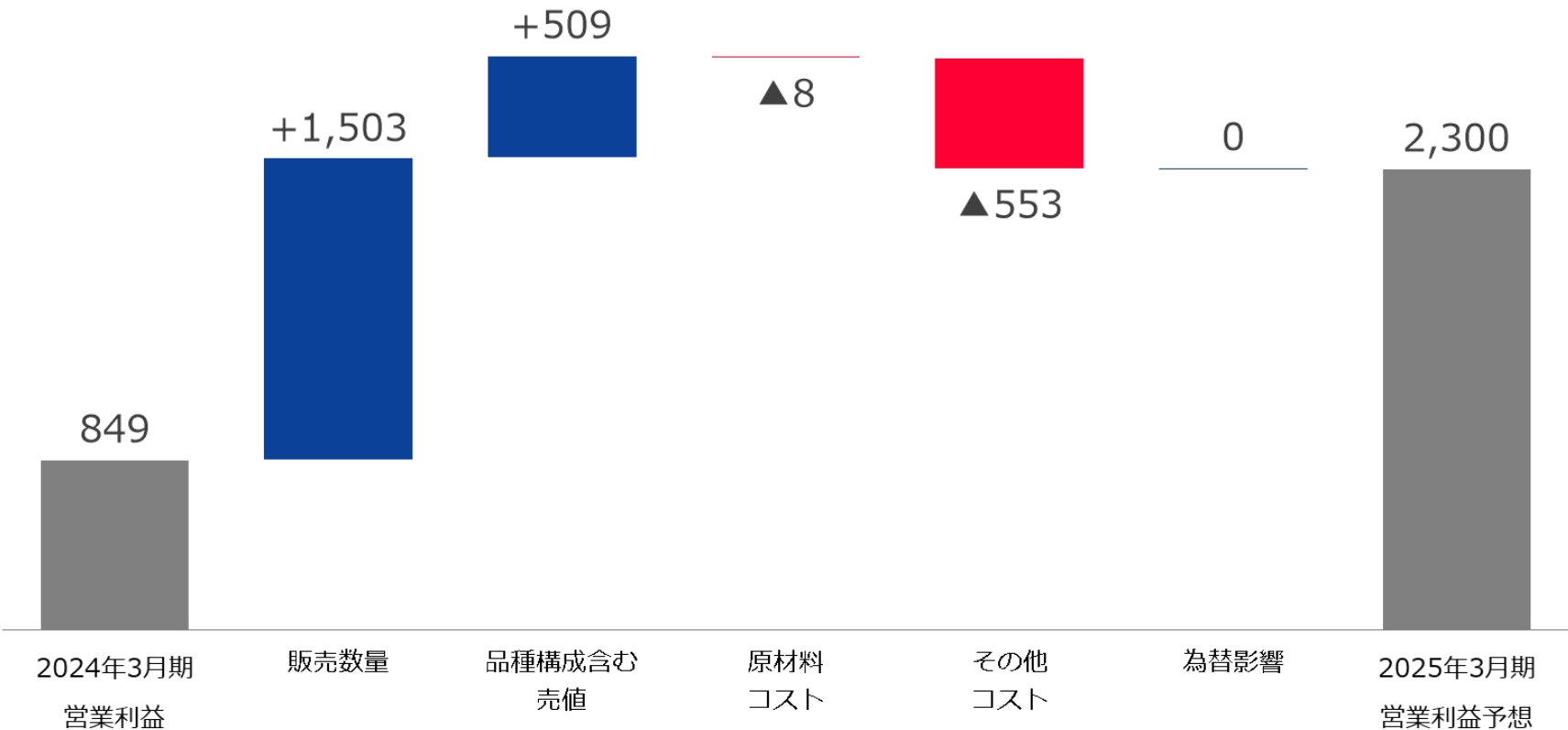
株主還元方針は、配当性向30%以上を目途に安定配当の継続を目指す

営業利益増減要因分析 2024年3月期v.s.2025年3月期



前期比 1,451百万円増益

単位：百万円



セグメント別 業績予想



単位：百万円

		2024年3月期	2025年3月期	2025年3月期	前期比	
		実績	5/13発表業績予想	現時点業績予想	増減額	増減比
電子・機能製品	売上高	16,545	19,000	18,200	1,655	+10.0%
	営業利益	643	1,100	800	157	+24.4%
フィルム・シート製品	売上高	17,498	20,000	20,800	3,302	+18.9%
	営業利益	655	1,400	1,800	1,145	+174.8%
建材関連	売上高	7,112	7,400	7,400	288	+4.0%
	営業利益	272	50	40	▲ 232	▲ 85.3%
エンジニアリング	売上高	2,491	4,000	3,700	1,209	+48.5%
	営業利益	▲ 136	280	300	436	-
連結調整	売上高	▲ 416	▲ 500	▲ 100	316	-
	営業利益	▲ 586	▲ 730	▲ 640	▲ 54	-
連結合計	売上高	43,231	50,000	50,000	6,769	+15.7%
	営業利益	849	2,100	2,300	1,451	+170.8%

セグメント別 下期の事業見通し（上期比較）



電子・機能製品	機能化学品	+ エレクトロニクス市況の回復により、半導体及び電子部品向け製品の出荷が増加 + お客様都合での在庫調整が完了し、農薬向け製品の出荷が増加
	機能樹脂	+ 中国市場での拡販により、光学関連分野向け粘・接着剤の出荷が増加 - 塗料向け粘・接着剤の国内向け出荷が減少
	電子素材	+ エレクトロニクス市況の回復により、半導体及び電子部品向け製品の出荷が増加 - 在庫削減による損益へのマイナス影響
フィルム・シート製品	フィルム	+ 中国での拡販により、改ざん防止用レーザーマーキングラベルの出荷が増加
	ステッカー	+ ブラジルでの二輪車生産台数の増加により、二輪車向け製品の出荷が増加 - 為替による損益へのマイナス影響
	再帰反射シート	+ グラフィック用反射シート製品の出荷が増加 - 在庫削減による損益へのマイナス影響
建材関連		+ マンション竣工棟数の増加により、売上が増加
エンジニアリング		+ 製鉄分野向けカーボンニュートラルトランジション設備の受注増により、売上が増加



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応



PBRの改善が重要な経営課題と認識、ROEとPERの両面より施策を推進

PBR

=

ROE

×

PER

ROE

- 戦略市場分野における成長ドライバーの拡販や新たな成長ドライバーの創出による事業成長
- 収益性の低い基盤事業の体質強化
- 健全な財務体質を維持しつつ、必要性に応じた有利子負債の活用検討
- 株主還元 配当性向30%以上を目途に安定配当の継続実施
⇒2025年3月期は普通配当年間80円を予定

PER

- 戦略市場分野における成長ドライバーの拡販や新たな成長ドライバーの創出による事業成長
- 収益性の低い基盤事業の体質強化
- サステナビリティ経営の推進
 - ・ 太陽光発電や再エネ電力購入等による再生可能エネルギーの利用促進
 - ・ エンジニアリング事業を通じたカーボンニュートラルへの貢献
 - ・ ダイバーシティ・エクイティ & インクルージョンを意識した人的資本への投資



TOPICS

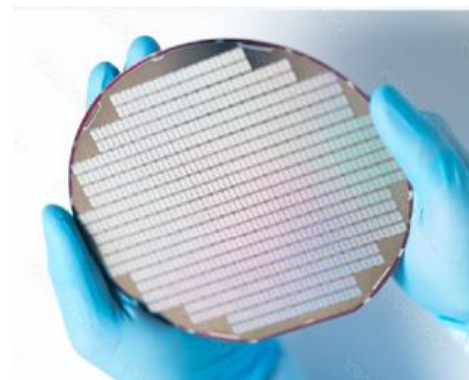
半導体用途にビニルエーテルの引き合いが増加

カーバイド由来のアセチレンを原料として合成されるビニルエーテルは、世界に数社しかメーカーがありません。さらには多品種のビニルエーテル製品をラインナップしていることが当社グループの強みとなっています。ビニルエーテルは、様々な用途に使用されていますが、最近ではフォトレジストのブロック剤、感光樹脂の改質材料など、半導体関連用途の引き合いが増加しています。原料のアセチレンは引火性が高く、取扱いに危険を伴う物質ですが、当社グループでは創業当時より培ってきた技術と管理の継承で、安全な操業を行い、安定的な製品供給を実現しています。

ビニルエーテルの用途例

- 橋梁やタワーなどに使用される高耐候性・高防食性塗料
- UVインキの原料
- ソフトコンタクトレンズの柔軟性付与
- 癌治療薬の原料

など



アゾール化合物が次世代半導体分野に貢献

カーバイドから製造されるシアナミド及びシアナミド誘導体は、医薬品や農薬の原料・中間体に長年使用されてきたほか、シアナミド誘導体の一つであるアゾール化合物は、半導体製造工程で使用する表面処理剤や電子デバイスの密着性向上添加剤としても使用されています。



従来の半導体製造では、金属表面の粗化により樹脂との密着性を物理的に向上させていましたが、近年では、高速通信の必要性から伝送損失低減のため金属表面の非粗化が求められています。当社グループのアゾール化合物は金属表面を粗化せずに化学的に密着させる機能があるため、更なる信頼性の向上につながり、次世代半導体や先端半導体の進化に貢献すると注目を集めています。

機関投資家の皆様からのご質問・お問い合わせ先

日本カーバイド工業株式会社

経営企画部 広報・IRグループ

メールにてお問い合わせください
prir@carbide.co.jp

【将来見通し等に関する注意事項】本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えてものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。